

登壇される方へ

過去のアンケートでの反響などから、ご留意いただきたいポイントを抜き出しました。

✓ オンマイクで(マイクを近づけて)喋る

ハンドマイクの場合、口から1-5cm程度が最適な距離です。この状態を「オン・マイク」と呼びます。マイクの先端の球状部分には指をかけないようにしましょう(音がこもったり、ハウリングが発生しやすくなります)。

✓ スクリーンに向かって喋らない

つついスクリーンの方を向いてしまいがちですが聞き手に対して、横、または、後ろを向いてしまうこととなります。スクリーン上で「ここが～」と指し示す場合を除き、スクリーンに向かって喋らないようにしましょう。また、スクリーンを見上げる際、マイクから口が離れてしまうので聞き取りにくくなってしまいます。

✓ 挙手アンケートを行う場合には、結果をフィードバックする

「～の人は挙手してください」といったアンケートを取る場合、「～人くらい」「～%くらい」のように、その場で結果をフィードバックいただくようお願いします(正確である必要はなく、ざっくりとした数字で結構です)。前の方に座っている方は、ほかの方の状況を把握できないため、ただ、手を挙げるという行為を繰り返すのは、受講サイドからは徒労感が伴います。数セッションで構成する場合、何回も挙手アンケートを行うとうんざりしますので、ほかのセッションとの兼ね合いなどもご考慮ください。

✓ 質問に答える場合には、質問内容を短くまとめて復唱してから

質問の多くは、緊張のためか要領を得ないことが多いようです。そこで、質問内容について「質問内容は～ですね」と確認をお願いします(MC権限で止めさせていただくことがあります)。これにより「質問者 VS 講師」でなく、「聴衆 VS 講師」の関係で、その質問を会場全体でシェアすることができます。質問後に「この返答でよろしいですか?」のご確認も忘れずをお願いします。

その他

語尾の「～だと思えます」はNGワードです

「～だと思えます」は、あやふやな印象を与えてしまうことがあります。「不確かなことにお金を払いたくない」「前準備が不十分では?」といったクレームをいただくことがあります。語尾を柔らかくしたい場合には「～と考えます」にしましょう。

準備不足等のエクスキューズ

いろいろな事情で準備不足であったり、ギリギリのスケジュールでご登壇されることがあると思います。「準備時間が取れなかった」、「昨日、スライドを作った」といった発言に対して、受講される方によっては「たいして手をかけていない」と感じ、クレームにつながる場合があります。セミナー時だけでなく、ブログやmixiでの吐露にもご注意ください。

持ち時間との兼ね合い

「今日は時間がないので…」は、よい印象を持たれません。「本日は限られた時間の中で」「短い時間の中で厳選して」などの表現をご検討ください。